



2021・1・1

第 396 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

総選挙の今年、9条改憲に終止符の年に

全県キャラバンがスタート

【徳島県／9条改憲NO！徳島・市民アクション】 九条の会徳島、「戦争をさせない1000人委員会」徳島、徳島共同センターの3団体と幅広い個人で構成する「9条改憲NO！徳島・市民アクション」は12月17日、JR徳島駅前で、憲法9条改憲阻止を訴える全県キャラバンのスタート宣伝行動を行いました。県下の全市町村を回る計画です。

九条の会徳島の上地大三郎事務局長は「安倍前首相は『自衛のため』と改憲を合理化したが、かつての戦争も『自衛』を口実に始まった。歴史を繰り返させてはいけない」と力を込めました。

「1000人委員会」徳島の大西総事務局長は「日本国憲法は世界の最先進の英知の集大成としてつくられ、現在もその地位を維持している」と強調。「声を上げ、政治の誤りを正すのが民主主義だ」と訴えました。

徳島憲法共同センターの山田節子さんは「今日12月17日は、75年前、女性が参政権を獲得した日。次の総選挙で、憲法を守り、生かす政治を実現しよう」と呼びかけました。

《九条の会事務局主催 学習会》 菅政権の成立と改憲問題の新局面

- ◇日時 2021年2月17日(水)
18時30分～21時
- ◇会場 文京区民センター 3-A 会議室
- ◇講演
 - *バイデン政権の成立と日米軍事同盟の強化—第5次アーミテージレポートにもふれて
布施 祐仁(ジャーナリスト)
 - *敵基地攻撃能力保有策動の狙いと憲法9条
前田 哲男(軍事評論家)
- ◇参加費 一般1000円 学生300円
- ◎コロナ対策のため先着90名(あらかじめ参加希望者と人数をお知らせください)

戦争法廃止を！各地で19日行動

【宮城県／九条の会連絡会など5団体】

仙台市の中央通商店街で19日、「軍事費を削って新型コロナ対策にまわせ」と訴える声が響きました。戦争法の廃止を求める「19

日行動」で九条の会連絡会など平和5団体でつくる実行委員会が主催し、市民と野党の共闘に結集する県議、仙台市議、市民ら35人が参加しました。

「安倍政権を引き継いだ菅政権は、『敵基地能力の保有』を検討し、危険な軍拡路線に拍車をかけようとしています」と訴えると、「息子の事を考えると黙ってられない」という高齢の男性など、多くの市民がペンをとりました。

小学生のときに仙台空襲にあい、やけどで苦しむ人をまたいで逃げ、なんとか助かったと話す太白区の遠藤清吉さん(85)は、「安倍政権に輪をかけて平和を壊している菅政権は許せない」と語気を強めました。

発議反対署名年内目標にあと41筆

【奈良県／九条の会奈良】

19日、午後3時45分～4時30分まで、商業施設エコーマミ2階通路で、今年最後の19日宣伝行動を行いました。新型コロナ拡大第3波の厳しい寒さ襲来の中でしたが、11人が参加しました。寒さのせいかわり物客もいつもより足早に通りすぎる人が多かったのですが、ビラの受け取りが100枚、改憲発議反対署名が10筆集まりました。

改憲発議反対署名がこれで309筆となり、年内目標350筆まであと41筆です。何とか達成したいと思います。（「九条の会奈良県ネットワーク」）

【大阪府泉南市／泉南市九条の会】

泉南市九条の会は、戦争法が施行されていらい、毎月定例でおこなっているスタンディングを19日昼、泉南市のスーパー前で行い、15人が参加しました。

参加者は「9条改憲NO!」「なくそう核兵器」と書かれたプラカードを掲げたり、ゼッケンを身につけたりして通行する車や人にアピールしました。

【埼玉県東松山市／東松山9条の会】

10月18日(日)高坂ビオニウオーク交差点で第5回宣伝行動が行われました。東松山9条の会、東松山平和委員会、新日本婦人の会東松山支部、埼玉土建東松山支部のメンバー・個人をはじめ、市議会議員やときがわ町・吉見町からも3mを超える大きな幟を持って参加された方など、総勢38人が集まりました。

今回は菅政権が“政府の方針・政策に異を唱える者は排除する”姿勢を露骨に示した日本学術会議への人事介入や敵基地攻撃能力保有をすすめることに対して強く抗議の声を上げました。また、軍事費を削って社会保障・災害・コロナ・教育費の充実を!など思い思いに横断幕やプラカード、プラスターを持ちながら、リレートークで呼びかけました。

久しぶりの青空の下、大勢の方が商業施設を訪れ、信号待ちの親子や乗用車からもたくさんの声援がありました。今後もスタンディング宣伝は、月1回のペースで実施します。（アベ9条改憲No.1全国市民アクションin東松山「東松山九条の会ニュース」NO75）

集団的自衛権閣議決定以来継続

【岡山市中区／高島9条の会】

岡山市中区の高島地域で12月16日、64回目の「集団的自衛権に反対する中区行動」が行われました。

2014年7月の閣議決定時から毎月中区内でスタンディングやデモを行い、「戦争したがる政治家いない」「暮らしを守る政治にしよう」と市民にアピールしています。

高島9条の会の小坂のぶよさんは「安倍さんは最低の首相でしたが、菅さんは最悪の首相です。早く代えたい」とあいさつ。医療生協の代表は「医療・介護の労働者は緊張と不安、ストレスの中、自粛と我慢に耐えています」「いのちや暮らしを守るには、国の責任で医療・介護の充実を進める以外に方法はありません」と、切実な思いを語りました。

大平しのぶ前衆院議員も飛び入り参加、「今すぐ Goto キャンペーンを中止して、医療・介護への支援を強めることが求められています。来年度の予算に軍事費を増やした菅政権を追い込み政権交代しましょう」と訴えました。

立憲民主党の津村啓介議員の事務所からも参加がありました。

開戦の日に9条への思い込め

【和歌山県みなべ町／みなべ9条の会】

みなべ「九条の会」は12月8日、今年も新聞折込みと町内街頭宣伝を実施しました。

「12月8日は79年前、日本がハワイの真珠湾を攻撃し、泥沼の戦争へ突入した日です。この戦争で、日本国民やアジアの多くの人々に地獄の苦しみを与えました。みなべ町でも814人戦死者を出しています。

日本は戦後『二度と戦争はしない』と世界に誓いました。その誓いが憲法9条です。戦後の日本は海外で戦争をしたこともなく、一人の他国民も殺傷していません。しかし、

今の自民党政権は、自衛隊が海外で軍事活動しやすくし、憲法9条を変えようとしています。日本が再び戦争することがないように憲法9条を大事に守っていきましょう」と訴えました。

（「九条の会・わかやま」416号）

戦前知っているから9条守る

【青森県／青森県九条の会】

青森県九条の会は12月26日、青森市の中心街で、街頭宣伝・署名活動に取り組み、「改憲 NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を広げようと市民へ署名を呼びかけ、14人が参加しました。

久しぶりに顔を出した太陽に人通りも多く、「9条を変えてはいけない！『アベ9条改憲』は戦争への道」の横断幕に足を止め署名する市民や「新型コロナウイルス対策に乗じた改憲策動を許さない」の訴えに「そっだ」と署名する人などの声が続きました。

「署名します」。雪がとけた歩道を自転車で走ってきた男性（87）がブレーキをかけ署名。男性は自転車にまたがったまま、「私は、戦前を知っているから9条は大事だと知っています。がんばってください」と激励しました。

呼びかけに、「わかりました。署名します」と答えた女性（八戸市在住）、「菅首相は官房長官の頃からひどかった。今は、安倍首相よりダメ」と顔をしかめました。

地域の過半数の世論築くために

【川崎市多摩区／生田9条の会】

生田9条の会は12月6日、多摩市民会館にて総会を開きました。例年は6月ごろ行う

のですが、今年は新型コロナウイルス感染の拡がりのため、この時期となりました。5名のニュース読者と運営委員、計16名が集まりました。

自己紹介・各系の報告をへて今後の活動を検討、後半は昨今の情勢を日本国憲法の立場からどう受け止めるかなど、幅広い話題で活発に話し合いました。時折笑いが漏れるなど終始なごやかな雰囲気の中、参加されたニュース読者5名全員が、運営委員・準運営委員として加わってくださいました。

《新しく運営委員になられた方のご紹介》

◇井上紀代(生田在住)…自己紹介のなかで「親から、戦争だけはいけない！と言われた」という皆さんの共通の発言が印象的でした。生田9条の会の今後の取り組みについて討論していく中で、新しい方からも、知人友人に解るように話をするにはどう言ったらいいのか、もっと学びたい、一緒に行動したいという思いがどんどん出てきました。

生田9条の会立ち上げの時のチラシや申し合わせを読み直しました。そして菅政権による9条だけでなく、菅政権による憲法無視、あまりにも酷い政治の真実をみんなに知らせていくことが大切じゃないか。申し合わせにある通り、「生田の地で過半数の世論を築くよう可能なあらゆる努力を」しよう、参加者全員で確認しました。この度は欠席されたみなさんも、同じ思いをお持ちでしょう。とても意義ある総会となりました。

◇安田美智子(生田在住)…「アベ政権が終わるまでは死ねない」と憤っていた方が、アベ氏の政権の放り出しで、「よかった」と笑ったのもつかの間、もっとひどい菅政

権が独裁体制をしいてしまいました。

スガ氏自らを助けるための自助。お友達への利益誘導のための共助。答弁のカンニングペーパーを公務員に書かせ助けを求めた公助。コロナ対応にトンチンカンなGotoは強行するのに医療機関の悲鳴には耳を貸さない。中小企業や旅館が倒産しようが、自殺者が急増しようが、我関せずで、ホテルでのお気に入りの人達との会食だけは続ける。

憲法には、学問の自由を保障する、国民の幸福追求権、国は公衆衛生の向上増進に努める、国会は議員の四分の一の要求があれば召集するエトセトラ、温かい条文が続きます。憲法を守らなければならないスガ氏はそれどころか、憲法を無きものにしようと虎視眈々ですが、来年はスガ氏とそのお仲間へ退場いただく年にいたしましょう。

(「生田9条の会ニュース」第84号)

しばし忘れて息抜きも

【神奈川県厚木市・相川九条の会】 12月3日、待ちに待ったハイキングの日。今年はコロナ禍での自粛生活でしたが、しばし忘れての思いで決行しました。9時10分バスセンターから終点の広沢寺温泉まで約40分。軽くストレッチを行い、まず広沢寺へ参拝。ゆるい上り坂をひたすら歩きます。落ち葉が両端に積もり季節を感じます。山々の紅葉と花や草を眺めたりしながら弁財天へ到着しました。かぶと湯は徹底したコロナ対策。お風呂も密を避ける為、3人までで交代で入りました。食事は量も味付けも私たちにぴったりでした。

これからも元気に頑張ろうと帰途につきました。(『相川九条の会ニュース』143)